



荒中教育の基本構想・グランドデザイン

「学力日本一」を目指す熊谷教育
くまがやラグビー・オリパラプロジェクト
総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム改善

学校経営方針

「この学舎は楽しきところ」
荒川中学校は、
○誰にもわかる授業をし、
確かな学力をつけます。
○徹底して「かまって」あげます。
○いざという時、全員で動きます。
○一秒でも早くプロの手へ渡します。

めざす学校像

「潤いと勢いのある学校」

- 学びの創造
- 自己指導能力の育成
- 自己有用感の向上

学校教育目標

わたしが誇るまち 熊谷に学ぶ 日本一の荒中生

めざす生徒像

本気で学ぶ生徒（知力）

I 学力の向上 (学習指導の充実)

目標値：県学調学力レベル向上100%

- 1 学校研究課題を推進し、わかる授業を実践します。
- 2 ラウンドシステムの趣旨を活かした授業を全学年、全教科で実践します。
- 3 全学調や県学調等により自校の課題を設定し、荒中検定や補充授業で解決します。
- 4 くまがやラグビーオリパラプロジェクトを活用し、汎用的能力の向上を目指します。



めざす生徒像

本気で磨く生徒（徳力）

II 豊かな心の醸成 (心の教育の充実)

目標値：新たな不登校・いじめ出現率0%

- 1 実生活の中で、道徳教育の「見える化」を図ります。
- 2 自分の思いや考えを、思いやりのある言葉で表現できる生徒を育てます。
- 3 人間関係づくり（スキル教育）を推進し、居心地のよい学習環境を整えます。
- 4 特別支援教育コーディネーターを核とし、インクルーシブ教育を推進します。



めざす生徒像

本気で鍛える生徒（体力）

III 健やかでたくましい体づくり (体力の向上)

目標値：新体力テスト県平均以上85%以上

- 1 新体力テストを年2回（春・秋）実施し、各個人の課題種目の克服を実現します。
- 2 ヘルス・クオリティ・コントロールシートを活用し、生活習慣の確立を目指します。
- 3 う歯治療率100%を実現します。
- 4 生徒の多様な学びの場として、部活動の充実を図ります。



地域との連携（協働）

地域の中での学校づくり (開かれた学校づくり)

目標値：携帯メール登録100%

- 1 学校だよりや学年だより等より、学校の情報を積極的に発信します。
- 2 ホームページを随時更新し、生徒の活躍を時差なく発信します。
- 3 PTAと連携を図り、保護者とともに信頼される学校づくりを目指します。
- 4 地域とともに実践的防災訓練を充実させ、「自助」「共助」の力を身に付けさせます。



学校研究課題「主体的・対話的で深い学びの中で確かな学力を身に付けた生徒の育成」

～ 学びに向かう集団づくりと生徒が意欲的に取り組む授業づくりをとおして～

熊谷の子どもたちは、これができます！

《生きる力の育成》 3減運動

4つの実践

- ① 朝ごはんをしっかり食べる。
- ② 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③ 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。

大人が手本となって

- ① テレビの時間を減らします。
- ② ゲームの時間を減らします。
- ③ スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

スマホ使い方宣言

- ・自分や周りの人の情報を守ります。
- ・他人を傷つけないようにします。
- ・様々な角度から情報を入手し、正確な判断をします。
- ・インターネットにつながる機器にはフィルタリングを設定してもらいます。

熊谷市立荒川中学校生徒会